

だんだんお花畠プロジェクトin玉城町

このプロジェクトは、令和元年度から活動しており、玉城町にある里地里山を利用して、地域の方や企業と共に里地里山の自然に触れていく事で地域全体を盛り上げていくことができます。活動内容として、竹林作業やビオトープ整備、春には里山いっぱいに広がる花畠でガーデニングコンテスト等を行います。

また、自然が好きな方や、自身の周りの地域について興味がある方にお薦めな活動です

TEAM DATA

メンバー数：6名
活動場所：玉城町
実施主体：清し有田佐田沖環境保全会
担当教員：池山敦（教育開発センター）
活動年度：H30, R01, R02, R03



1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

今年度の活動は、未だコロナウイルスの影響が続くなかった、安全に配慮して前年度は行えなかったガーデニングコンテスト及びフォトコンテストを4月に開催できました。

それらのイベントの準備として、竹で作成したベンチや案内看板看板作りを行い、地域の方や企業も協力してくださいました。そして、コンテスト当日には多数の参加者が集い、里地里山に広がる花畠を楽しめました。

そして、フォトコンテストでは「あなたが見つけた花畠をみんなで共有しよう」というテーマを元に、花畠を各自で撮り、コロナウイルスの対策としてfacebookやinstagramといったオンライン上で集計し、100以上の作品が集まりました。

その後、9月にzoomミーティングを行い、10月と11月には来年度の花畠の下絵を提出し、現地にて播種作業を行いました。

また、来年度もガーデニングコンテスト及びフォトコンテストを開催できるように活動しておりますが、依然としてコロナウイルスの影響が続いており、実地での活動が制限されていることがこのCLLの課題となっています。その中で去年に引き続いで実地作業以外に里地里山に対してできることは何かを模索し続けております。

月別活動

(4月) ガーデニングコンテスト・フォトコンテスト

(5月) フォトコンテスト一次審査 選定作業

(6月) フォトコンテスト最終審査 選定作業

(9月) zoom打ち合わせ

(10月) お花畠デザイン案 下絵提出

(11月) 播種作業



(4月) ガーデニングコンテスト及びイベント開催予定

活動を通して学んだこと

私はこの活動を通して、積極的に行動していくことの必要性を改めて感じました。オンラインや実地作業において自身から発言し、とにかく行動してみなければ、日々変化していく状況について行くことができません。特に、このCLL活動は里地里山という自然を舞台に活動しているので、自主性を發揮していくことが重要だと分かりました。

なので、まずは失敗を恐れずに様々な場に参加してみると、自身とは違う考え方や未体験のものに出会えるのでこの能力を伸ばしていこうと思っています。

実施主体からのコメント

清し有田佐田沖環境保全会 ご担当者様

プロジェクトのメインとなる里山ガーデニングコンテスト(4/11～5/9)はコロナ禍の制約の中で約1,500名の来場者があり盛会裡に終了しましたが、開催前のベンチづくりや看板立てなどの会場設営準備のほか、関連イベントのフォトコンテストの審査にも携わって頂きました。

さらに11月には、今年のコンテスト参加者として、植栽計画の作成や花種の播種作業にも関わって頂きました。とりわけ播種作業では、他の参加者の手伝いもして頂き感謝しています。

これから、4月のコンテスト開催に向けての協議・準備がはじまりますが、若い世代にも里地里山の魅力をアピールできるイベントとなるよう積極的に関わって頂くことを期待しています。



担当教員より

教育開発センター 池山 敦

コロナウイルス感染症の感染が拡大していますが、昨年もお花畠のお花は本当にきれいに咲いていました。報告書にも書かれているように、感染症対策でなかなか思うようにいかない活動の中ではありますが、お花の美しさには癒やされました。学生コメントにあるように、失敗を恐れずに発言してみること、行動してみること、そのことが大切だと思います。学生の皆さんのが今後も自主性を發揮し、積極的に関わり、そして大きく玉城町での花が開くことを期待しています。お疲れ様でした。コンテストに向けて引き続き頑張ってください。



成果物／制作物

